

平成30年度佐久市シティプロモーション推進事業委託業務公募型プロポーザル方式 回答書

平成30年6月15日

質問番号	質問の場所	質問事項	回答事項
1	仕様書1頁 2	市内居住者についても、「20代～40代を対象とする」という理解でよいか。	お見込みのとおりです。
2	仕様書1頁 2	移住定住に関して、東京圏をメインターゲットに考えているか。 (近隣地域や他のエリアは現状想定されていないか。)	お見込みのとおりです。
3	仕様書1頁 3(1)	調査分析にあたり、「競合」となる地域、市町村を設定すべきと考えているが、現在、具体的な「競合」を想定しているか。ある場合は、具体名を提示していただきたい。	現時点で具体的な「競合」は想定していませんが、「競合」を設定することが有益な場合は、提案してください。
4	仕様書1頁2 及び 4頁11(2)	目的に、移住定住人口の増加について記載があり、具体的な数値目標については、第二次佐久市総合計画概要版5頁に、人口の社会動態目標値として、「1,000人」と記載があるが、昨年度の移住者は何名か。 また、過去のデータがあれば、併せて提示していただきたい。	第二次佐久市総合計画における当該目標値は、「転入者数と転出者数の差」です。 正確な移住者数は把握していません。
5	仕様書2頁 3(1) エ(ア)	市内アンケート調査は、市のアンケート収集システムを利用する等、市に協力をいただけないか。	受託者が提案する調査方法により、市で対象者を抽出し、提供します。
6	仕様書2頁 3(1) エ(ア)	市民向けアンケートは、市と連携の基、住民基本台帳から情報を提供いただき、対象者へ依頼をかけるという認識でよいか。	受託者が提案する調査方法により、市で対象者を抽出し、提供します。
7	仕様書2頁 3(1) エ(ア)	市民へのアンケートは佐久市が主体となった調査として行い、住民基本台帳から年齢条件によるランダム抽出及びラベルデータとしての提供は可能か。	調査主体は受託者です。 受託者が提案する調査方法により、市で対象者を抽出し、提供します。 ラベルデータ等の加工は、受託者が行ってください。

平成30年度佐久市シティプロモーション推進事業委託業務公募型プロポーザル方式 回答書

平成30年6月15日

質問番号	質問の場所	質問事項	回答事項
8	仕様書2頁 3(1) エ(ア)	市民へのアンケートは、全て受託者が調達するのか。調査手法にもよるが、市から名簿等を提供いただき配布リストの作成をすることは可能か。	調査主体は受託者です。 受託者が提案する調査方法により、市で対象者を抽出し、提供します。
9	仕様書2頁 3(1) エ(ア)	市民へのアンケートに関して、住民基本台帳の閲覧及び抽出にあたっての費用は、本事業費の中で計上する必要があるか。	必要ありません。 受託者が提案する調査方法により、市で対象者を抽出し、提供します。
10	仕様書2頁 3(1) エ(ア)	市主体の調査として、郵送による調査を実施する場合、佐久市としての調査依頼及び市の封筒を使用することは可能か。	調査主体は受託者であり、市は連名による調査依頼を想定しています。 また、封筒は、受託者で用意してください。
11	仕様書2頁 3(1) エ(ア)(イ)	市内対象及び東京圏のアンケート対象が各1,000名となっているが、回収数が各1,000名か、配布数が各1,000名か。	配布数各1,000名とします。 回収率が上がる提案を期待します。
12	仕様書2頁 3(1)キ	定例会議で現在想定している参加人数、参加メンバー構成は。	現時点では、20名程度の庁内会議を想定しています。
13	仕様書2頁 3(3)	平成31年度以降の方向性は、今年度調査により現時点から変更する可能性があると思うが、今回提出する提案書である程度の方向性を提示した方がよいか。	お見込みのとおりです。

以上